

6 お客様・沿線の皆様へのご協力をお願い

2007年安全報告書 阪急電鉄株式会社

6-1 踏切事故防止キャンペーン

踏切事故は、自動車等の直前横断、無謀通行、運転操作の誤り等、道路通行者側に起因するものが大部分を占めているため、2006年度も近畿運輸局や近畿管区警察局等が共催する「踏切事故防止キャンペーン」に賛同して、踏切を通行するドライバーや歩行者に対して安全確認の協力を呼びかけるなど、安全で円滑な踏切道の通行の確保と踏切事故の防止に取り組みました。

(1) オープニングセレモニー

2006年11月、高槻市駅において、「踏切事故防止キャンペーン・オープニングセレモニー」として、お客様に啓発グッズをお渡しして踏切事故防止をPRいたしました。



(2) その他の取り組み

① PRポスターの掲出

当社線的全駅と全車両及び沿線小学校・幼稚園・自動車教習所等に掲出いたしました。

② 告知放送（車内、駅構内）の実施

踏切通行マナーの向上と事故防止への協力と理解を得るため、車内及び駅構内で告知放送を実施いたしました。

③ 啓発活動

以下の踏切道において、自動車の運転手や自転車通行者、歩行者に対して、リーフレットや啓発グッズ等を配布し、踏切通行マナーの向上と事故防止への協力及び理解を得るよう啓発活動を実施いたしました。

- ・ 神戸線 神戸本線塚口西踏切道 今津線門戸道踏切道 今津線球場前踏切道
- ・ 宝塚線 宝塚本線服部踏切道 箕面線平尾踏切道 箕面線府道南・府道北踏切道
- ・ 京都線 京都本線宮操筋踏切道 京都本線正音寺踏切道

④ 学校啓発

沿線の小学校において、踏切道の仕組みや正しい踏切の渡り方、ホームで電車を待っている時の注意点、車内でのマナー等の啓発活動を実施しました。



6-2 痴漢防止キャンペーン

列車内における迷惑行為の撲滅に向け、乗務員の車内巡視や駅係員の監視等とともに、車内や駅構内での放送等を強化いたしました。また、関西鉄道各社や鉄道警察隊と協同で迷惑行為を撲滅するため、キャンペーンを実施いたしました。



6-3 その他

(1) こども110番の駅

登下校時を中心として、子どもたちがトラブルに巻き込まれる事件が数多く発生しています。子どもたちを犯罪から守り、被害を最小限にとどめるため「こども110番の駅」の標示を掲げ、より一層安心してご利用いただける駅づくりを目指しております。



(2) AED (自動対外式除細動器)

AEDとは、致死性の不整脈である「心室細動」によって心臓から血液が送り出せなくなる状態が発生した場合、正常な状態に戻すために心臓に電気ショックを与える医療機器です。

当社では、鉄道をご利用いただくお客様をはじめ、多くの方々がお集まりになれる主要駅（16駅）に設置するとともに、AEDの取り扱い講習を受講した係員を配置し、お客様の救命率向上にご協力させていただいております。



(3) 車内の非常通報装置

車内で非常事態等が発生した場合において、乗務員に通報する装置として、全車両に非常通報装置を設置しております。

また、乗務員への通報だけでなく、直接、乗務員と通話ができる非常通話装置への更新も順次進めております。

